

人間らしい労働(ディーセントワーク)の実現にはジェンダー平等が不可欠 —労働組合の役割ととりくみ

日時

1/22 (金) 13時45分開会

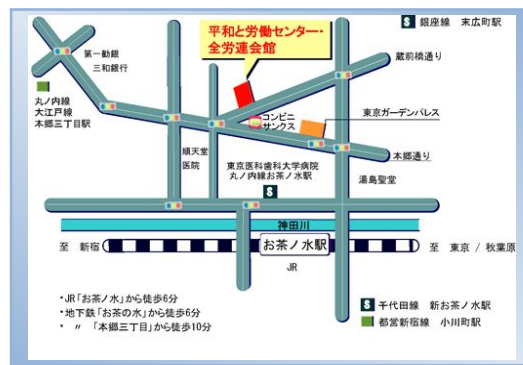
プログラム

- 記念講演「人間らしい労働実現にはジェンダー平等が不可欠-労働組合の役割(仮題)」
- 問題提起 ●とりくみの報告 ●質疑・討論

会場

全労連会館 2階ホール

文京区湯島 2-4-4



日本の男女平等（ジェンダーギャップ）指数は142か国中104位であり、特に政治と経済分野での男女行道の遅れが際立っています（世界経済フォーラム）。ILOはディーセントワークの中軸にジェンダー平等を掲げており、労働組合の役割が問われています。

全労連は2006年に規約を改訂し、大会代議員および評議員の3分の1以上を女性とするよう定めましたが、なかなか女性の参画が進んでいないのが現状です。講演と単産のとりくみ報告に学び、組合活動への女性の参画推進に何ができるのか、皆さんで考えあいましょう。

講師 蓑輪明子氏（名城大学経済学部 助教）

- 略歴 蓑輪明子 [ミノワアキコ] 現代資本主義論、女性労働論。一橋大学大学院社会学研究科特別研究員を経て現職
- 著書 『キーワードで読む現代日本社会』（中西新太郎氏との共編著）



主催 全国労働組合総連合/男女平等推進委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4階 TEL 03-5842-5611 FAX 03-5842-5620